

## 海外派遣研修行程及び研修概要

11月 4日（金曜日）1日目：関西国際空港（出発式）→ 仁川空港 → ロサンゼルス空港		
時 間	行 程	研 修 内 容
14:45	関西国際空港集合	4 F 国際線出発フロア前に集合
15:00	出発式	<p>研修団をはじめ、実行委員会、多くの見送りの保護者や関係者参列のなか出発式を行う。清瀬実行委員長から激励のお言葉を頂き、研修生を代表して農業大学の衣笠優が研修団のテーマである『縁～すべての出会いに感謝～』のもと研修に全力で取り組むと挨拶を行った。</p> <div style="text-align: center;">  <p>出発前の集合写真</p> </div>
17:45	関西国際空港 発	多くの方に見送られ、いよいよ出発。
19:45	仁川空港 着	機内で軽食をとり、あっという間に韓国へ到着。時間調整のため空港内で自由行動とした。ハングル文字の看板を見て初めて異国の地へ来た実感する。高まる期待を胸に、いよいよサンパウロに向けてのフライトが始まった。
21:35	仁川空港 発	<div style="text-align: center;">  <p>快適な空の旅</p> </div> <p>日本を出発しトランジットを含め約 30 時間の大飛行であったものの、充実した映画やゲームとうわさの機内食、ビビンバを堪能し快適な空の旅を過ごすことができた。途中のロサンゼルスでの入国審査では、うっかり記念写真を撮ってしまった研修生が1名。頂いた大目玉も今は良き思い出に。</p>
	ロサンゼルス空港 〔トランジット〕	

## 海外派遣研修行程及び研修概要

11月 5日（土曜日）2日目：サンパウロ		
時 間	行 程	研 修 内 容
11:40	サンパウロ空港 着	<p>無事予定通りブラジルへ到着。ブラジル兵庫県人会会長の尾西氏をはじめとし、多くの関係者の方々に出迎えて頂いた。</p> <p>空港から1歩出るやキョロキョロとあたりを見わたし、ブラジルの空気を肌で感じた。早速バスに乗り込みホテルへ移動。車内ではガイドの話と次から次へと飛び込んでくるブラジルの景色に夢中となり、テンションが上がりっぱなしに。熱心にメモをとるも、デコボコ道路に悪戦苦闘。</p>
14:00	ニッケイパレス 着	<p>ホテルにチェックイン後、近くの日本食レストランで昼食。ブラジルで食べる刺身定食に少し驚きながらも、何を頼んでも出てくる料理の量の多さにビックリした。</p>
15:00	日本移民資料館見学 東洋人街散策	<p>移民船笠戸丸の乗船券や当時の生活ぶりなど日系移民の方々の歴史やその開拓者精神を知り、先人達の力強さを学ぶことができた。その後、提灯の形をした街灯が特徴的な東洋人街の散策では、僅かな時間ながらも初めてブラジル通貨レアルを遣ってのショッピングを楽しんだ。</p>
18:30	車椅子贈呈式	<p>今回の研修団は出発前、北海道の福祉施設よりお預かりした車椅子3台をサントス厚生ホームへ届ける大役をおおせつかった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>車椅子贈呈式の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地元新聞にも掲載</p> </div> </div>
19:30	県人会との交流会	<p>兵庫県人会の方々をお招きしての夕食会。自己紹介をはじめとし有意義な交流会となった。また、この場で東日本大震災についてのプレゼンテーションを行い、「がんばろう日本」の合い言葉のもと復興に取り組んでいる日本の姿を伝えた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>交流会での1コマ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>取材を受ける平川君</p> </div> </div>

## 海外派遣研修行程及び研修概要

11月 6日（日曜日）3日目：アリアンサ（移動）		
時 間	行 程	研 修 内 容
6:30	朝食	<p>長旅の疲れからか昨日は全員よく眠れた様子。元気に起床し、ビュッフェスタイルの朝食。ブラジルに納豆がある！と感動しつつ、南国特有のフルーツに舌鼓をうつ。</p>
8:00	ホテル 出発	<p>本日は約 600km 離れたアリアンサの YUBA 農場へ移動。サンパウロ郊外に永遠に広がるサトウキビ畑、ユーカリ畑（合板の材料として急速に植林・伐採が進んでいる）やコブ牛の群れを車窓から眺めた。車内では県人会の斉藤氏からブラジルの農業事情についての説明を受けた。</p> <p>途中、立ち寄ったドライブインでは、怪しいポルトガル語とジェスチャーを駆使してコーヒーを注文したり、ピザやパンを食べたりとリアルを遣い買い物を楽しむことができた。ドライブインには何故か戦車が展示してあり、思わず記念写真を1枚。また、ここブラジルでも、もうすぐクリスマスということで、クリスマスディスプレイも沢山見られた。中でも驚いたのは、コーヒー豆を使ったクリスマスリースである。さすがブラジルと思いつつ、「国が変われば品変わる」改めて異国の地にいることを確認した。</p>
12:00	昼食（弁当）	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>戦車をバックに1枚</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コーヒー豆を使ったリース</p> </div> </div>
16:00	YUBA 農場 着	<p>約 8 時間かけアリアンサへ到着。アリアンサは 1924 年に開かれた移住地で、この移住地建設の計画を知った弓場勇氏が、同じ志を抱く仲間達とともに設立した共同農場が YUBA 農場である。ここで自給自足の生活を体験した。</p>
18:00	夕食	<div style="text-align: center;">  <p>YUBA 農場のシンボルツリー（マンゴー）</p> </div>

## 海外派遣研修行程及び研修概要

11月 7日（月曜日）4日目：YUBA農場		
時 間	行 程	研 修 内 容
6:00	起床 朝食	<p>牛の角笛の知らせから YUBA 農場の1日が始まる。起床後、すぐに朝食。昨晚もそうであったが、ここでの食事は全員が集まり、みんなでいただく。食べる前には感謝の念を抱き祈りを捧げる。口にするものは自給自足。ハエが飛んでいるようが、野菜に少々土が付いているようが気にしない。食事が済んだら農場へ行く。こんな日本ではあまり考えられない生活がみんな気に入ったようである。</p>
7:00	農場視察・実習	<p>トラクターの荷台に乗り込み農場見学へ。見学後、僅かな時間だったが実習（除草作業）を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>農場見学へ出発</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>炎天下での実習</p> </div> </div>
12:00	昼食	
13:00	肉牛農場視察	<p>飼育頭数1万頭規模の農場を視察。とにかく広く、見わたす限り牛、牛、牛。研修生の中に畜産を専攻している生徒が多いため、興味津々。積極的に質問が飛びかい、日本との牛の違いに感動。バカス（サトウキビのカス）やオレンジの皮などブラジル特有のエサについて熱心にメモをとっていた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>家畜の飼料について勉強中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>牧場にて</p> </div> </div>
18:00	夕食 お別れ会	<p>YUBA 農場での最後の夜ということで、夕食にバーベキューをご馳走になった。食事後、お別れ会としてスタンプやお互いにプレゼント交換を行った。</p> <p>ここでの生活はあっという間でしたが、自給自足の生活様式に感動する者。食べ放題のマンゴーに感激する者。満天の星空を眺め南十字星に感動する者。人の温かさに感激する者。多くの記憶が胸に刻まれる場となった。</p>

## 海外派遣研修行程及び研修概要

11月 8日（火曜日）5日目：アプカラナ、マリンガ		
時 間	行 程	研 修 内 容
<p>6:00</p> <p>7:45</p>	<p>起床 朝食</p> <p>YUBA 農場 出発</p>	 <p style="text-align: center;">YUBA 農場の人たちと</p>
<p>14:00</p>	<p>アプカラナ農業高校訪問</p>	<p>アリアンサを後にシパラナ州アプカラナへ移動。バスのエンジントラブルのため大幅に到着が遅れる。おかげで昼食は抜きとなる。</p> <p>到着後、講堂にて対面式。日本の農業高校での取り組みを知ってもらおうと通訳を交えてのプロジェクト発表を行った。意見交換会ではお互いに初対面とは思えないほどの盛り上がりを見せた。</p>  <p style="text-align: center;">互いの質問が飛びかった意見交換会</p>
<p>17:00</p>	<p>アプカラナ農業高校 出発</p>	<p>ホームステイ先のマリンガ市へ向けて移動。</p>
<p>18:00</p>	<p>ASEMA 着</p>	<p>マリンガ市へ到着。本日から5泊のホームステイが始まる。ASEMA の役員やホストファミリーの方々と初対面。緊張しながらもこれから始まるホームステイを楽しみにしている。</p>
<p>20:00</p>	<p>歓迎会</p>	<p>ASEMA の施設で行われた歓迎会では、大がかりな演出と美味しい料理で大歓迎して頂いた。とても温かく迎えて頂き、身に余る思いであった。</p>
<p>23:00</p>	<p>ホストファミリー宅へ</p>	<p>歓迎会終了後、各ファミリーにお世話になる。</p>